



# ☆「褒めるだけが愛情じゃない」 広陵高校中井監督 ☆

『今は本気で怒ってくれる人がおらん。親も怒らんのじゃないですか。だから愛情に飢えている。ほめるだけが愛情じゃないんです』

(広陵高校・中井哲之監督)

高校生だから、ときには悪さもする。とんでもないこともする。だが、頭ごなしに怒らない。それが中井監督のポリシーだ。「『何で、そうしたんや?』って言いますね。『お前の得意な言い訳してみ一よ。絶対怒らんから言え』って。ワーッといきなりは怒らないです、絶対。自分が嫌いなことをしても頭ごなしには怒らないですね。言い訳を聞いてやれば、たいがい『自分が悪かった。こうすればよかった』と言います。毎日、これだけつきあっていたら、何をしたら監督に起こられるか、喜ぶかぐらいわかるじゃないですか。そうでないと、組織なんて成り立たんでしょう」ミスをして、その子を否定しないこと。これが大事になってくる。人を怒ると好き嫌いや期待度、普段の印象などにより怒り方が変わる可能性があるからだ。

だから中井監督は、ミスをした「人」を認め、「事」を怒る。「『お前ダメだ』じゃなくて、認めてやることじゃないですかね。『お前もこんないいところがあるだろ』と。あとは僕の知っていることを伝えるだけですよね。僕もすべてできるわけじゃない。足りないことも、わからないこともたくさんあるけど、今足りないと感じたことを言うだけ。生徒にも言うんですよ。『オレはわからんことも、足りんこともいっぱいある。だけど、長年生きてきとるし、お前らに頑張ってもらいたい、言いよるだけ。憎いけ言いよるわけじゃない。勘違いするなよ』って。そう言うと、いい顔をしますね。『そんなことだれにも言われたことない』って言いますもん。特に中学のときなんて、野球うまかったら言われたことがないって。今は本気で怒ってくれる人がおらん。親も怒らんのじゃないですか。だから、愛情に飢えているんじゃないですかね。性格があるからすべては当てはまらんけど、ほめるだけが愛情じゃない。組織にいと(上を)選べないじゃないですか。僕らが校長や理事長を選べないの



と一瞬で。世の中に出るとお客さんも選べないし、社長も選べない。でも、男として、大人として、その職業でごはんを食べるしかない。それで生きていくしかない。そのために(指導者が)知っていることを伝える。怒ることも必要だと思います」この子を正しい方向に導きたい、立派な人間にしてやりたいと思えば、やさしく接するだけではいけない。怒ることで、足りない部分に気づかせてやる。それを反省し、改善することをくり返すことで、大人になっていく。進むべき大きな方向を示してあげる導師になること。これが指導者の役割なのだ。

やる気にさせる高校野球監督の名言ベスト66 (田尻賢吾・ベースボール・マガジン社)より

# ☆11月6日(火)第4回共通テスト!準備をしよう☆

第3回進路希望調査が全員回収完了しました!期限内提出ありがとうございます。三者面談に向けての判定資料づくり、入試願書確保など進路業務にも生かします。今回の希望調査を元に三者面談を行います。悩み中の人は、面談までに家でも話し合いを進めてください。6日(火)は4回目の実力テストです。今回は市内共通となります。

